北海道で考える北東アジア国際情勢シンポジウム2025

「新局面を迎えたウクライナ戦争の北東アジアへの影響〜日本を取り巻く安全保障環境を考える」

日時

2025年3月10日(月)時間 13:30~15:30

場所

札幌ガーデンパレスホテル 2階丹頂の間

方式

会場での対面式およびオンライン (ハイブリッド方式)

タイムテーブル

基調報告〔各20分x2〕13:30~14:10

(1) 兵頭慎治・防衛省防衛研究所 研究幹事

(2) 岩下明裕・北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 教授

ディスカッション(質疑応答)14:20~15:30 (50分)

コーディネーター:高田喜博・ハイエック客員研究員

ロシア・プーチン大統領と北朝鮮金正恩 総書記の「包括的戦略パートナーシップ 条約」に基づく、北朝鮮軍兵士のウクラ イナへの戦場投入。また今年1月に再び 就任したトランプ大統領の関与など、そ うしたウクライナ情勢の変化が、北東ア ジアの安全保障環境にどのような影響を 及ぼすのか?

専門家による議論を深め、最新情報の解説により大きく変化する国際情勢の中、日本をとりまく安全保障環境について、みなさんとともに考えます。

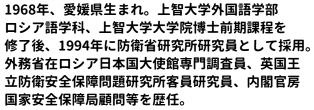
プログラム

基調報告

兵頭 慎治氏

防衛省防衛研究所 研究幹事

「国際情勢の変化と北東アジアの 安全保障環境への影響」



現在、青山学院大学大学院兼任講師、国際基督教 大学非常勤講師、外務省研修所講師等を兼任。 専門は、ロシア地域研究、国際安全保障論。

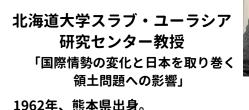


岩下明裕氏

九州大卒。山口県立大助教授経て2003年、北大スラブ研 究センター教授。

改称に伴い14年から北大スラブ・ユーラシア研究センター 教授。長崎大学グローバルリスク研究センター長。 22年3月まで2年間はセンター長を務める。

専門はロシア・独立国家共同体(CIS)外交、境界研究。





連絡先を記載の上お申し込みください。【参加料:無料】定員70名

お問合せ先:HIECC 情報企画部(担当:加納・高田)☎011-221-7840 × hiecc@hiecc.or.jp

